アレイ直流電源装置

3600 シリーズ

取扱い説明書

作成　2003 年 12 月 1 日

改訂　2004 年 7 月 1 日

改訂　2009 年 7 月 31 日

改訂　2012 年　1 月 25 日

株式会社*ティ・アンド・シー・テクニカル*

本社：東京都足立区　千住仲町４０－１２

TEL:０３(３８７０)７１０１　FAX:０３(３８７０)７１０２

取手事業所：茨城県取手市宮和田　４４８－１

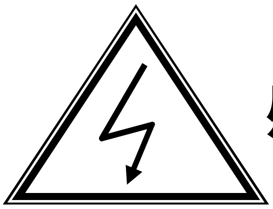
TEL:０２９７(８３)０７２１　FAX:０２９７(８２)７１２７

九州営業所：大分県別府市　野田１８３

TEL:０９７７(６７)７２２１　FAX:０９７７(６６)４１０５

Ver.1.4

安全に関する注意事項



感電注意

本体の設置やサービス作業を行う場合は、電源に対し認識を持つ人が行ってください。
人体及び機器設備安全の為に保守作業などの動力アースは必ず接地アースに接続してください。

本体運転中は入力・出力端子には感電や人体傷害を防ぐ為に手を触れないでください。
屋外や漏水・結露がおこる環境では使用しないで下さい。

本体の入力・出力線を接続又は外す時はＡＣ電源供給元が切れている事を必ず確認したのち作業してください。

本体カバーを開けますと、内部で感電する危険がありますので認識を持つサービスマン以外は内部プリント基板などには絶対に手を触れないで下さい。電源が切れていても内部コンデンサーが充電されています。本体カバーを開ける時は突然の不具合による人体傷害を防ぐ為に保護眼鏡を使ってください。

ヒューズ交換やメンテナンス時は元電源を切断後 5 分以上経過した後作業を行ってください。
全ての外部配線端子は接地されたケースアースに接触させ安全を確認してください。

移動の際は、長時間運転直後は本体底面が高温になる部分が有るため冷却後に移動して下さい。

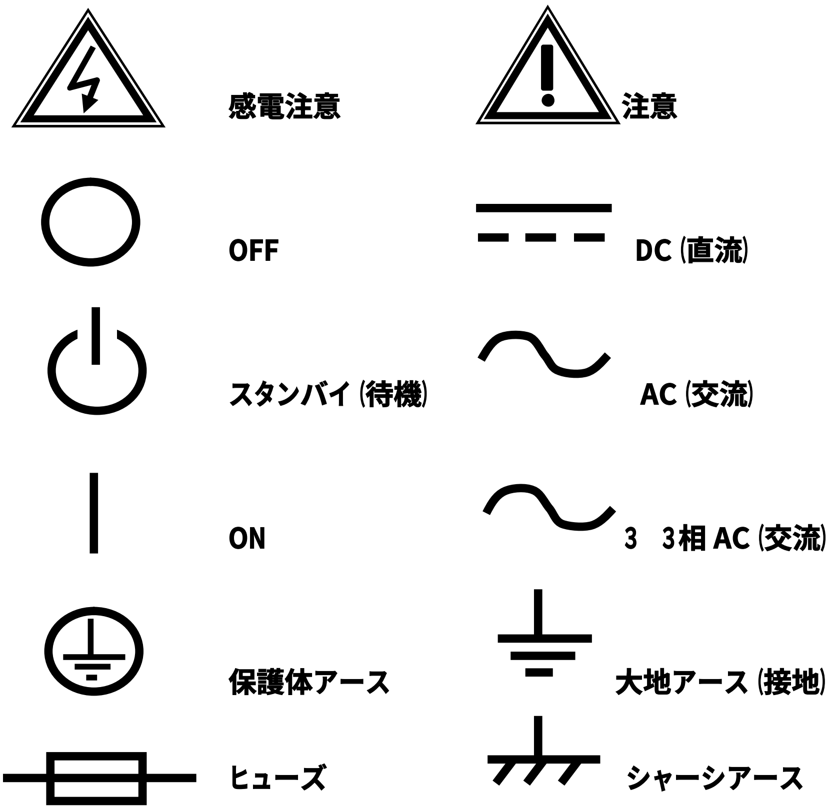
注意

高温・多湿の環境では運転しないで下さい。基本性能が発揮されず耐久性を劣化させる可能性があります。

本体の通気孔を塞いだ状態、密閉した環境で使いますと温度上昇により基本性能が発揮されないことが有ります。通気の良い環境で運転してください。

腐食性のガスなどがある環境で運転しますと、冷却空気の流れに沿って部品が劣化し故障の原因となります。

安全シンボル

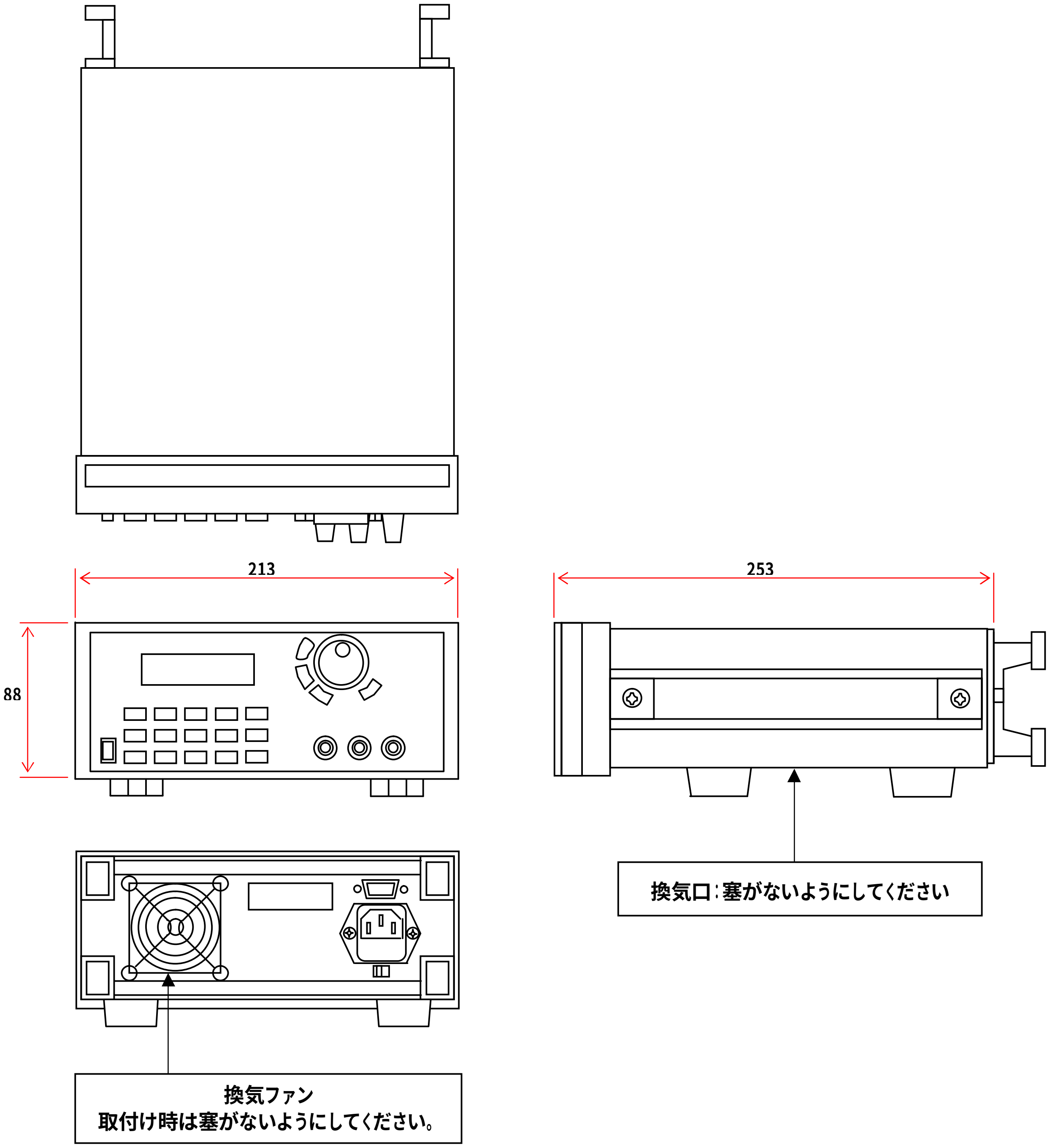


アレイ 3600 シリーズ仕様

製造会社		ARRAY ELECTRONIC 社					
製品形式		3644A		3645A		3646A	
入力電圧		100/200ACV 50/60Hz 単相					
出力電圧レンジ		0－18V		0－36V		0－72V	
出力電流レンジ		0－5A		0－3A		0－1.5A	
最大電力		90W		108W		108W	
電圧･電流表示器		バックライト付液晶表示					
電圧リードバック分解能		10mV		0-19.99V：10mV 20-36V：100mV		0-19.99V：10mV 20-72V：100mV	
電圧リードバック精度		0.2%＋20mV		0-19.99V：0.2%+20mV 20-36V：0.2%＋100mV		0-19.99V：0.2%+20mV 20-72V：0.2%＋100mV	
電流リードバック分解能		10mA		10mA		10mA	
電流リードバック精度		0.2%＋20mA		0.2%＋20mA		0.2%＋20mA	
電流出力表示分解能		10mA		10mA		10mA	
ﾗｲﾝﾚｷﾞｭﾚｰｼｮﾝ	電圧出力	0-3.999V	0.01%+3mV	0-3.999V	0.01%+3mV	0-3.999V	0.01%+3mV
		4-18VDC	0.02%+10mV	4-36VDC	0.02%+10mV	4-72VDC	0.02%+10mV
	電流出力	0.02%+8mA		0.02%+8mA		0.02%+8mA	
ﾛｰﾄﾞﾚｷﾞｭﾚｰｼｮﾝ	定電圧	0.02%+20mV		0.02%+10mV		0.02%+10mV	
	定電流	0.02%+15mA		0.02%+10mA		0.02%+8mA	
立上がり時間	50→90%	10msec					
立下がり時間	90→50%	30msec					
リップル(電圧)		＜1mVrms		＜1mVrms		＜1mVrms	
リップル(電流)		＜5mArms		＜4mArms		＜3mArms	
電圧プログラミング精度		0.1%+20mV		0.1%+20mV		0.1%+20mV	
電流プログラミング精度		0.2%+20mA		0.2%+20mA		0.2%+20mA	
電圧プログラミング解像度		0-3.999V：1mV 4-18V：10mV		0-3.999V：1mV 4-36V：10mV		0-3.999V：1mV 4-72V：10mV	
電流プログラミング解像度		10mA		10mA		10mA	
寸法規格		88mm(H) 213mm(W) 253mm(D) 突起物含まず					
重量		6kg					
運転温度		0－50℃					
湿度		0～80%RH 結露無き事					
電圧･電流調整		フロントパネル ロータリースイッチ及びテンキー					
電圧･電流制御モード		自動切替					
その他		パスコードによるキーロック機能					
フロントパネル表示		出力電圧、出力電流、消費電力、出力 ON/OFF 表示 PC/KEY ローカル/PC 制御					
メモリー機能		10 セットの電圧電流設定を EEPROM に記憶/電源 ON 時の出力 ON/OFF 設定					
保護モード		過電圧設定、過電力設定、過電流設定					
デジタルインターフェース 別売オプション		通信アダプター3311PC で TTL 絶縁 RS232 シリアル通信が可能 通信アダプター3312PC で TTL 絶縁 USB 接続によるシリアル通信が可能					
PC 制御		出力 ON/OFF、CC 設定、CV 設定、過電圧･過電力設定					
PC 表示		トレンドグラフ･設定画面等･ログ記録･パスワード					
冷却方式		ファンにより底面から冷却用外気を吸込み背面より排気 注意：底面･背面を塞がないようにしてください。					
認証規格		CE EN55011:1998 Group 1 Class A EN61000-3-2:2000,EN61000-3-3:1995,EN50082-1:1997					

仕様は予告無く変更する事が有ります。

3600 シリーズ外観寸法図



目　次

１　開梱及び設置 9
１－１　概要 9
１－２　特徴 9
２．設置 9
３．外観説明 10
３－１．フロントパネル 10
３－２．背面 12
４．機能設定 13
４－１．V-SET キー 13
４－２．Ｉ-SET キー 14
４－３．設定の保存・呼び出し 15
４－４．メニュー機能 16
５．PC による３６００シリーズ操作 18
５－１．はじめに 18
５－２．ソフトの導入 19
５－３．通信の設定＜ソフト側＞ 22
５－３－１．名称とアドレス 22
５－３－２．電源装置の選択 22
５－４．通信の設定＜電源装置側＞ 23
５－５．PC 側 COM ポートの確認 24
５－５－１．ポート番号の確認 24
５－５－２．PowerMS ソフトの通信ポート設定 26
５－６．操作画面 27
５－６－１．操作画面の説明 27
５－６－２．通信ポート設定（①） 30
５－６－３．電源装置仕様設定（①） 31
５－６－４．レポート機能（①） 32
製品保障 34

1　開梱及び設置

1－1　概要

アレイ社直流電源は、直流電圧・電流を２種類の入力電圧を切り替えてご使用いただけるようになっており、安定した出力で実験装置から装置組込まで幅広くご利用いただけるよう設計されています。
お手元に届きました電源が変形・傷及び作動不良がありましたら直ちにお求め先又は末尾にあります当社連絡先にご連絡ください。

1－2　特徴

＊　デジタル式の制御により高精度に出力設定が出来ます
＊　液晶パネルには電圧・電流・消費電力そして各種設定画面が表示されるようになっております。
＊　過電圧・過電流及び内部過温度保護回路など安全保護回路を有しています
＊　電圧・電流モードが自動的に切替ります。
＊　PCにより装置のON・OFFや各種制御が可能です

2．設置

電源を供給する前にお求めの電源装置の入力AC電圧が正しいか、入力電線のサイズが適切か確認してください。又周波数が定格である事を確認してください。
電源を収納するときは背面の換気ファン及び底面の空気取入れを考慮した収納を行ってください。

	注意 正しい入力供給電圧で運転しないと機器内部に損傷を与えます

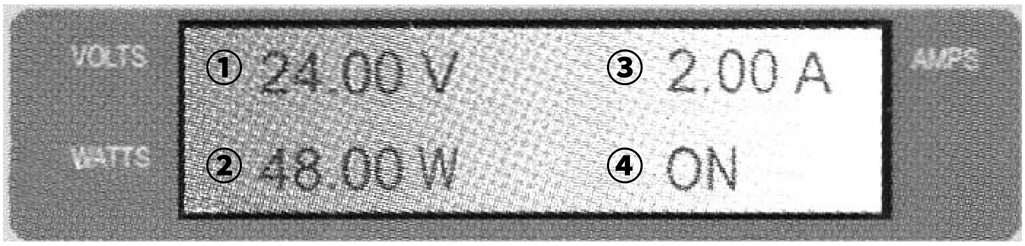
3．外観説明

3－1．フロントパネル

フロントパネルは図1に示すように出力端子、液晶表示、テンキー、機能キー、ロータリーコードスイッチが配列されています。

図1．フロントパネル

●液晶表示

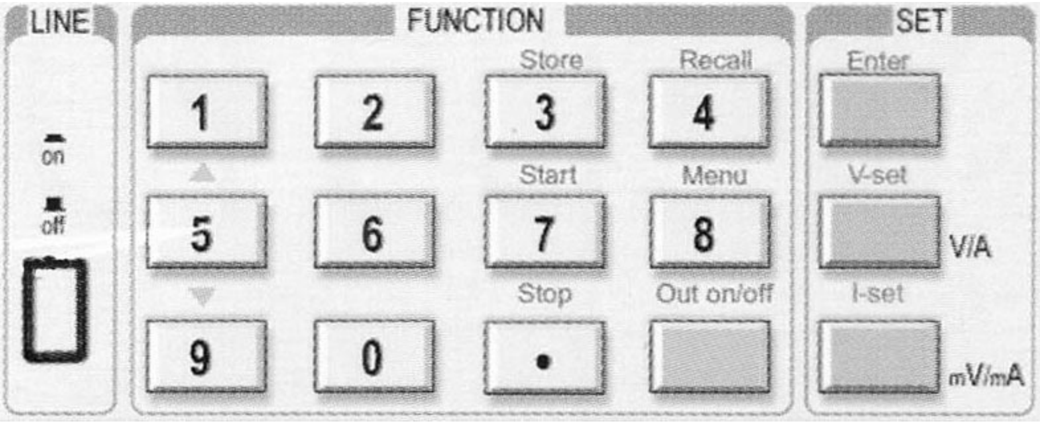


電源投入時は上記の表示(数値は異なります)が出ます。

① 設定された電圧値を表示します。設定された電圧より低い出力がされている場合、数値は点滅します。
② 出力を表示します。数値が点滅している場合は設定より低い出力値となっています。
③ 出力電流値
④ 状態表示

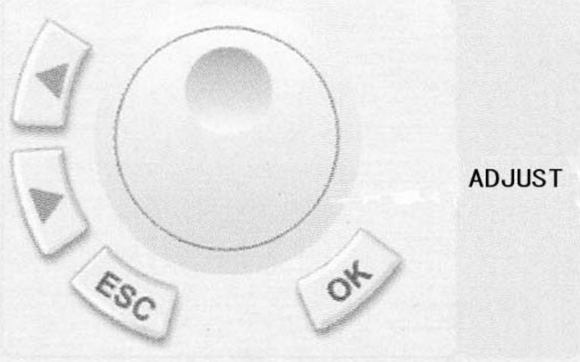
ON　－出力中　OFF－出力停止中
PC　－コンピューターによる制御
KEY －キーパッド入力中

●キーボード



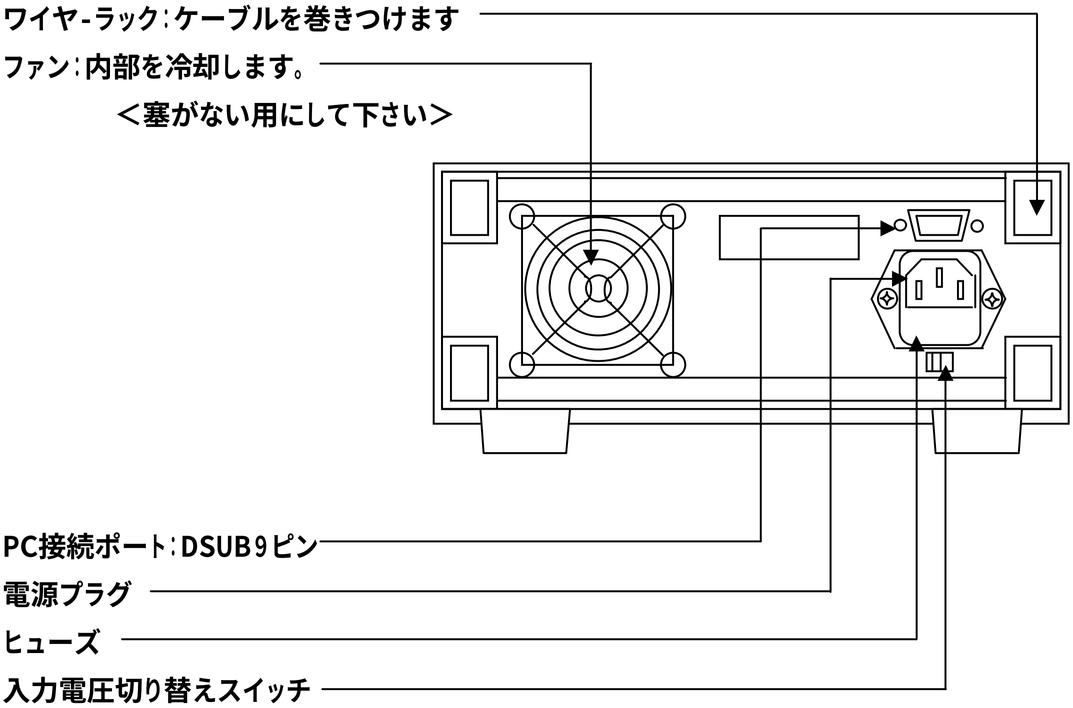
０－９　数値の設定に使用します
Store　現在の設定をメモリーします
Recall　保存されている設定を呼び出します
Menu　メニューキー (メニューを呼び出します)
OUT on/off　出力のON／OFFを行います
Enter　設定確定キー
V-set　出力電圧設定
I-set　出力電流設定
5(△)　メニューの画面を送ります
9(▽)　メニューの画面を送ります
V/A　電圧設定、電流設定内での単位の切り替え
mV/mA　電圧設定、電流設定内での単位の切り替え

●ロータリーコードスイッチ



左三角キー　桁移動
右三角キー　桁移動
ESCキー　現在の操作画面から出力表示へ移動します
ENTERキー　確定キー
ロータリーコードスイッチ　数値の上げ下げを行います

3－2．背面


ワイヤ-ラック：ケーブルを巻きつけます
ファン：内部を冷却します。
＜塞がない用にして下さい＞
PC接続ポート：DSUB９ピン
電源プラグ
ヒューズ
入力電圧切り替えスイッチ

4. 機能設定

本電源装置には4つのメイン機能キー及び6つのサブ機能キーにより出力をはじめ、各種設定を行います。設定を行うときは本体電源を入れ、出力はOFFの状態で作業してください。

4－1. V-setキー

V-setキーは定電圧値の入力を行うときに使用します。設定方法は下記の手順に従います。

手順	内容	液晶表示
1	V-setキーを押します (電源投入時は出力画面です)	ENTER PASSWORD
2	パスワードを入力します パスワードを設定していない場合は4からの作業となります。	ENTER PASSWORD
3	パスワードを入力します(数値キー) パスワードが間違っている場合、2の表示に戻ります。	ENTER PASSWORD ＊＊＊＊
4	V-setキーを再度押しますと、初期設定値がNEWの行に入力されます。 新しい設定を行う場合は5に進みます。	SET VOLT ＝ 24.00 V NEW ＝
5	数値キーもしくはロータリースイッチで数値を入力します。(ここでは12V)	SET VOLT ＝ 24.00 V NEW ＝ 12
6	数値の入力が終わりましたらV/Aキーを押します。 ＜単位をmVで登録する場合はmV/mAキーを押します。＞	SET VOLT ＝ 12.00 V NEW ＝
7	ESCキーで出力画面に戻ります	12.00 V 0.00A 0.00 W OFF
8	Out on/offキーを押し出力をONにします	

4－2．I-setキー

I-setキーは定電流値の入力を行うときに使用します。設定方法は下記の手順に従います。

手順	内容	液晶表示
1	I-setキーを押します (電源投入時は出力画面です)	ENTER　PASSWORD
2	パスワードを入力します パスワードを設定していない場合は4からの作業となります。	ENTER　PASSWORD
3	パスワードを入力します(数値キー) パスワードが間違っている場合、2の表示に戻ります。	ENTER　PASSWORD ＊＊＊＊
4	I-setキーを再度押しますと、初期設定値がNEWの行に入力されます。 新しい設定を行う場合は5に進みます。	SET　CURR　＝　0.00　A NEW　＝
5	数値キーもしくはロータリースイッチで数値を入力します。（ここでは1.2A）	SET　CURR　＝　0.00　A NEW　＝　1.2
6	数値の入力が終わりましたらV/Aキーを押します。 ＜単位をmAで登録する場合はmV/mAキーを押します。＞	SET　CURR　＝　1.200　A NEW　＝
7	ESCキーで出力画面に戻ります	24.00　V　　0．00A 0.00　W　　OFF
8	Out　on/offキーを押し出力をONにします	

4－3. 設定の保存･呼び出し

予め使用する電圧、電流設定を保存することで、本機の使用に際し設定を簡単に行えます。最大で１０の設定を保存することが可能です。

データの内容は下記のとおりです。

電圧/電流/最大電圧/キーロック有無/最大電力/通信速度(bps)/通信アドレス

保存方法

手順	内容	液晶表示
1	Storeキーを押します (電源投入時は出力画面です)	XXXX V　XXXXW XXX A　XX
2	パスワードを入力します パスワードを設定していない場合は4からの作業となります。	ENTER PASSWORD
3	パスワードを入力します(数値キー) パスワードが間違っている場合、2の表示に戻ります	ENTER PASSWORD ＊＊＊＊
4	数値キーもしくはロータリースイッチで保存する設定の番号を選択します	STORE 1
5	番号を選択しましたらStoreキーを押します これで設定は保存されました	
6	ESCキーで出力画面に戻ります	24.00 V　0．00A 0.00 W　OFF

４－３で保存してある設定を下記の手順で呼び出します。

呼び出し方法

手順	内容	液晶表示
1	Recallキーを押します (電源投入時は出力画面です)	XXXX V　XXXXW XXX A　XXX
2	パスワードを入力します パスワードを設定していない場合は4からの作業となります。	ENTER PASSWORD
3	パスワードを入力します(数値キー) パスワードが間違っている場合、2の表示に戻ります	ENTER PASSWORD ＊＊＊＊
4	数値キーもしくはロータリースイッチで呼び出す設定の番号を選択します	RECALL 1
5	番号を選択しましたらRecallキーを押します これで設定が呼び出されます	
6	ESCキーで出力画面に戻ります	24.00 V　0．00A 0.00 W　OFF

4－4. メニュー機能

メニューキーを押しますと、下記の特別設定を行うことができます。

MAX VOLTAGE SET	:最大電圧設定
MAX POWER SET	:最大出力設定
ROTARY SWITCH SET	:ロータリースイッチＯＮ／ＯＦＦ設定
INITIALY OUT SET	:電源投入時の出力のON/OFFを設定
VOLT SAVE SET	:電圧メモリー
BAUDRATE SET	:通信速度設定
ADDRESS SET	:アドレス設定
KEY LOCK	:キーロック設定
CLEAR　SAVE　DATA	:保存した設定を全て消去します
EXIT	メニュー画面から出ます

メニュー画面内への入り方

手順	内容	液晶表示
1	Menuキーを押します (電源投入時は出力画面です)	
2	パスワードを入力します パスワードを設定していない場合は4からの作業となります。	ENTER　PASSWORD
3	パスワードを入力します(数値キー) パスワードが間違っている場合、2の表示に戻ります	ENTER　PASSWORD ＊＊＊＊
4	メニューが表示されます	MAX VOLTAGE SET MAX POWER SET
5	項目を呼び出す際は▽△キーで行います 設定を行う項目でEnterキーを押してください	
6	設定を終了しましたら、Escキーでメニュー画面に戻り、EXITを選択します。	
7	ESCキーで出力画面に戻ります	24.00　V　　0．00A 0.00　W　　OFF

1．MAX VOLTAGE SET　最大電圧設定

数値キーもしくはロータリースイッチで最大電圧値を入力し、Enterキーで確定します。

2．MAX POWER SET　最大電力設定

数値キーもしくはロータリースイッチで最大電力値を入力し、Enterキーで確定します。

△▽キーでキー操作音の有無を選択設定します。

3．ROTARY SWITCH SET　ロータリースイッチON/OFF設定

ロータリースイッチの使用･不使用を選択します。

4．INITIALY OUT SET 出力ON/OFF設定

電源ON時の出力ON/OFFの設定を行います。

5．VOLT SAVE SET 電圧メモリー

電源装置の電源を落としたさい、最後に使用した電圧設定を記憶し、電源再投入時にはその電圧を自動的に設定します。

6. BAUDRATE SET 通信速度設定

パソコンとの通信速度を設定します。選択できる通信速度は下記の通りです。

９６００，１９２００，３８４００bps 選択は△▽キーもしくはロータリースイッチで行います。

7．ADDRESS SET 通信用アドレス設定

アドレスは０から２５４の間で設定が可能です。△▽キーもしくはロータリースイッチで数値を選択します。

8．KEY LOCK キーロック設定

キーボードのロック機能を設定します。設定を行う場合は現在のロックコードを入力し、その後新しいロックコードを入力します。

ロックコードは数値キーで設定します。設定が終了しましたらEnterキーを押し確定します。

9．CLEAR SAVE DATA 保存データ消去

設定データを全て消去します。

5．PC による３６００シリーズ操作

5－1．はじめに

３６００シリーズは本体に付属するRS232ポートを使用してPCから出力の設定を行うことができます。
ソフトを使用するに当たり、別売の絶縁型通信用ケーブルをご購入ください。

＜アダプター種類＞

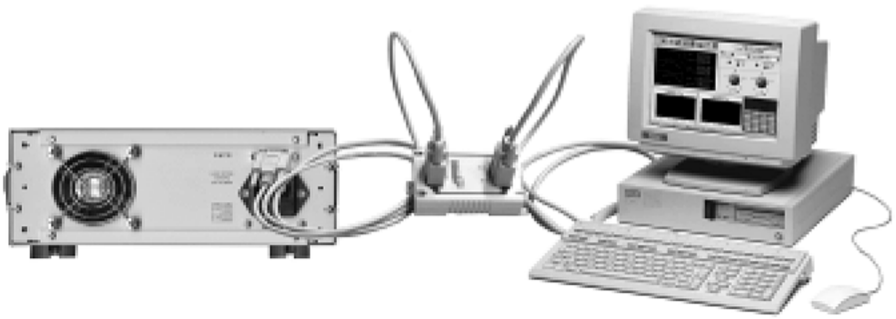
製品番号：３３１１PC　ケーブル付アダプター　DSUB9ピンRS232接続用
ドライバーはWindows標準を使用します。

製品番号：３３１２PC　ケーブル付アダプター　USB接続用
ドライバーは当社ウエッブサイト　http://www.tactec.co.jp/power/aray_software_dl.htmlよりダウンロードします。

＜PowerMSソフトウエア＞

入手方法：当社ウエッブサイトよりダウンロードとなります。
http://www.tactec.co.jp/power/aray_software_dl.html

主機能　電圧設定　電流設定　出力ON/OFF



接続図

5－2．ソフトの導入

ソフトウエアは下記OSで動作します。

Windows®98,2000,XP

D-SUB９ピン　RS232Cポート　１基　もしくはUSBポート1基

メモリー必要空き容量　30MB以上

専用アダプター　(P/N３３１１PC(DSUB9ピン)、３３１２PC(USB))

表機能を使用する場合はMicrosoft®　Excel®を予めインストールしてください。

導入手順

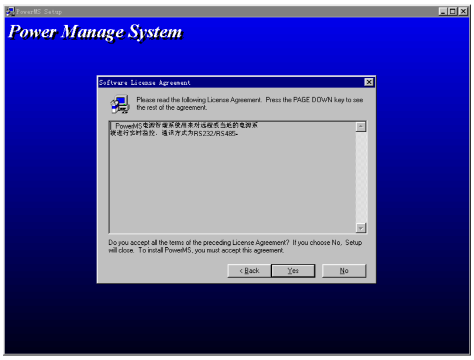
１．ソフトウエアをhttp://www.tactec.co.jp/power/aray_software_dl.htmlよりダウンロードします。

２．PowerMSソフトウエアのフォルダーを開きます。

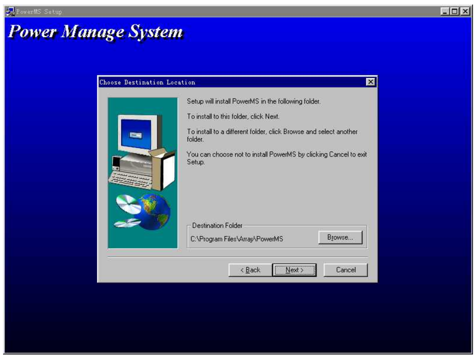
３．Setupアイコン(PCの形のもの)をダブルクリックし、導入先がProgram　Filesであることを確認し、そのまま指示に従いソフトを導入します。

４．画面の進行

⇒



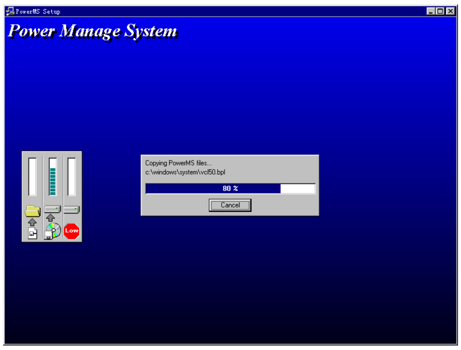
⇒



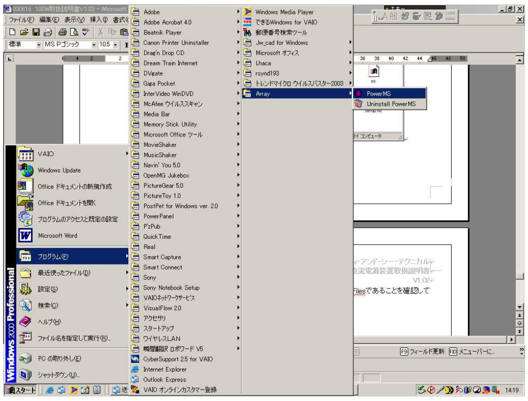
許諾画面　　ソフト保管先

⇒

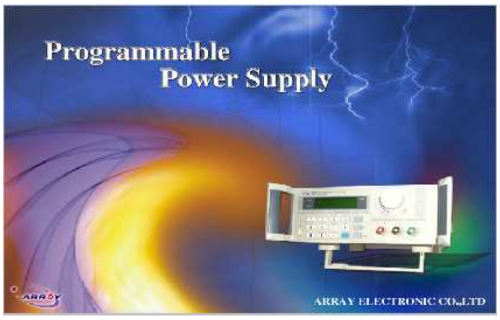
ソフト容量設定　　プログラムフォルダー名称設定



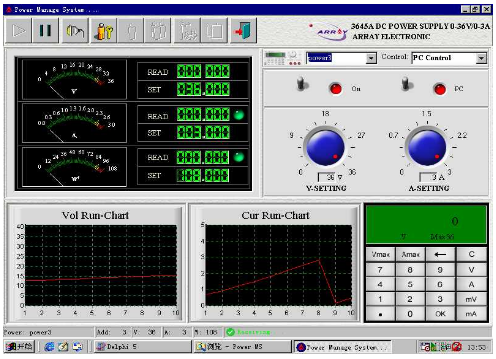
⇒



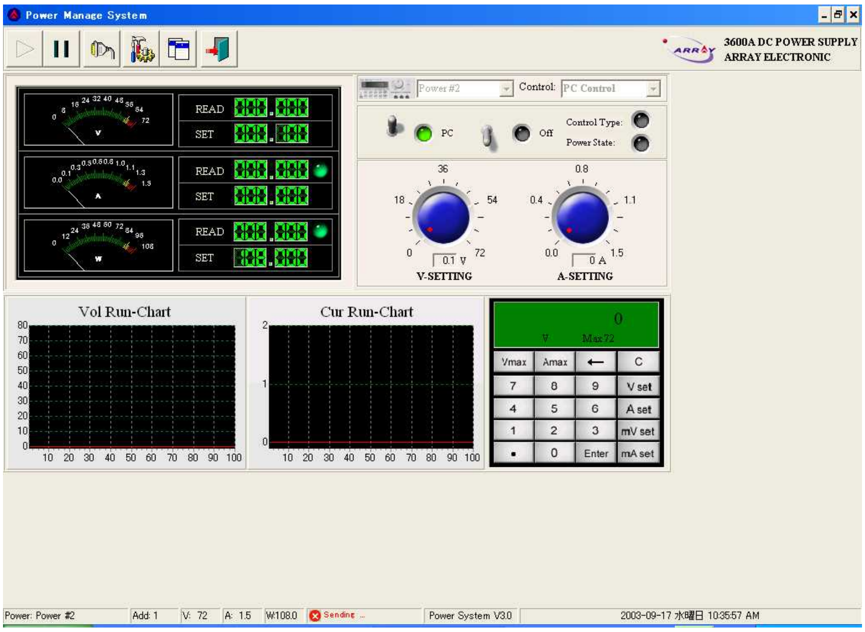
5．スタートメニュー⇒Array⇒PowerMS3.0を開きます。

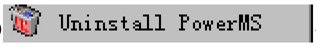


⇒



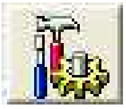
6．操作画面が表示されます。



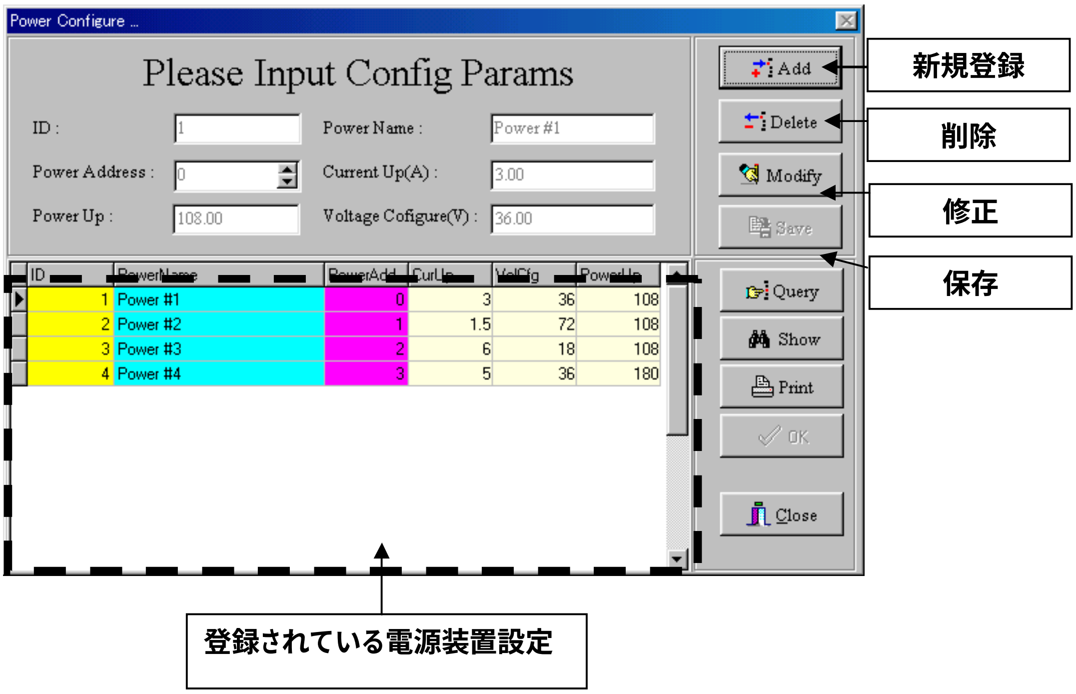
ソフトを削除する場合はプログラムメニューArray内のを選択してください。

5－3. 通信の設定＜ソフト側＞

5－3－1. 名称とアドレス



電源装置設定ボタンを押します。すると登録されている電源装置の一覧が表示されます。
御使用になる電源装置の名称と Power Add(アドレス)を確認します。



1. 新規登録は必ず異なる ID と電源装置アドレス設定としてください。
2. 削除を行う場合は、削除する設定をクリックし、削除ボタンを押し、最後に保存ボタンを押してください。
3. 修正、新規登録を実施した場合はソフトを再起動します。

例) 電流 6A、電圧 18VDC のモデルの電源名称は Power#2 でアドレスは1となります。
名称とアドレスを確認しましたら、Close ボタンを押し、操作画面に戻ります。

5－3－2. 電源装置の選択

操作画面の装置選択プルダウンメニューをクリックし、使用する電源装置の名称を選びます。

プルダウンメニューによる通信する電源装置の切り替え

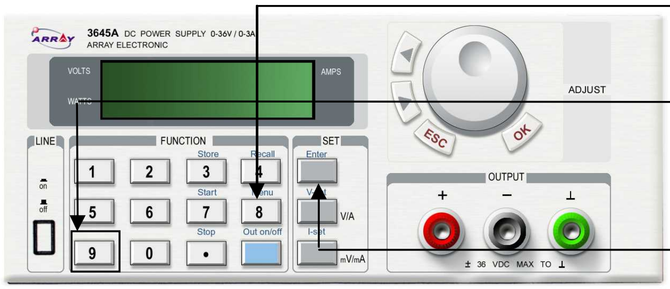
5－4. 通信の設定＜電源装置側＞

電源装置アドレスの設定

作業内容

6－3で確認した電源装置アドレス及び通信速度を本体に入力します。

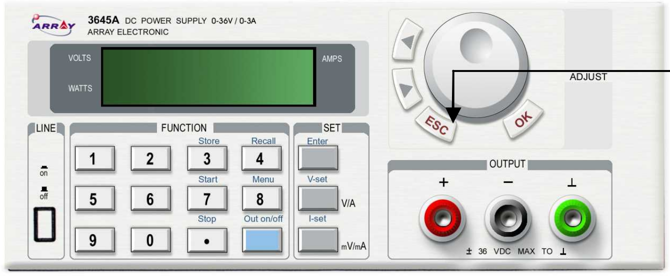
入力手順



Menu キーを押し、メニューを表示します。

ダウンキーで COMMUNICATION SET に→を表示させます。

ENTER キーを押します。



通信速度を選択し(4800 から 38400 の中で選択)、ENTER キーを押します。

ダウンキーで ADDRESS SET へ→を表示させ、ENTER キーを押します。

ソフトで確認したアドレスを入力します。入力後 ENTER キーを押し、ESC キーで測定値画面に戻ります。

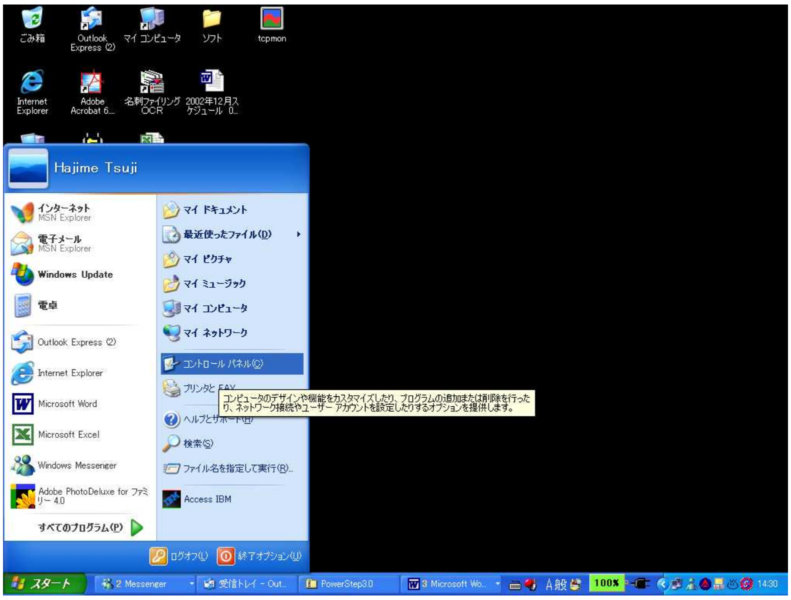
5－5．PC側COMポートの確認

PC 側の通信ポートの確認を行います。PC には電源と PC をつなぐための専用ケーブルが差し込まれていることを確認します。　3311PC 接続用ケーブルセット

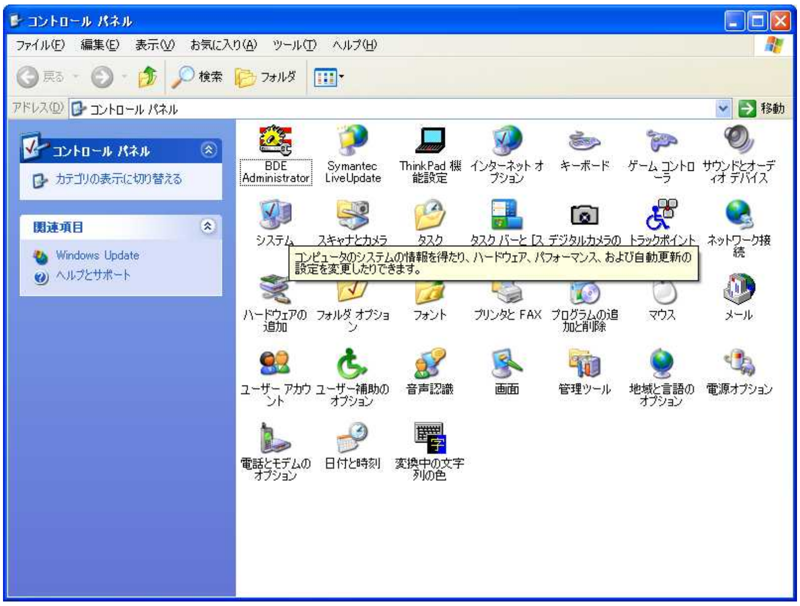
5－5－1．ポート番号の確認

通信ポートには番号がつけられており、通常 COM1、COM2 とポート数に応じて番号が増えていきます。お手持ちのパソコンのポート番号を確認するには下記の手順で行います。

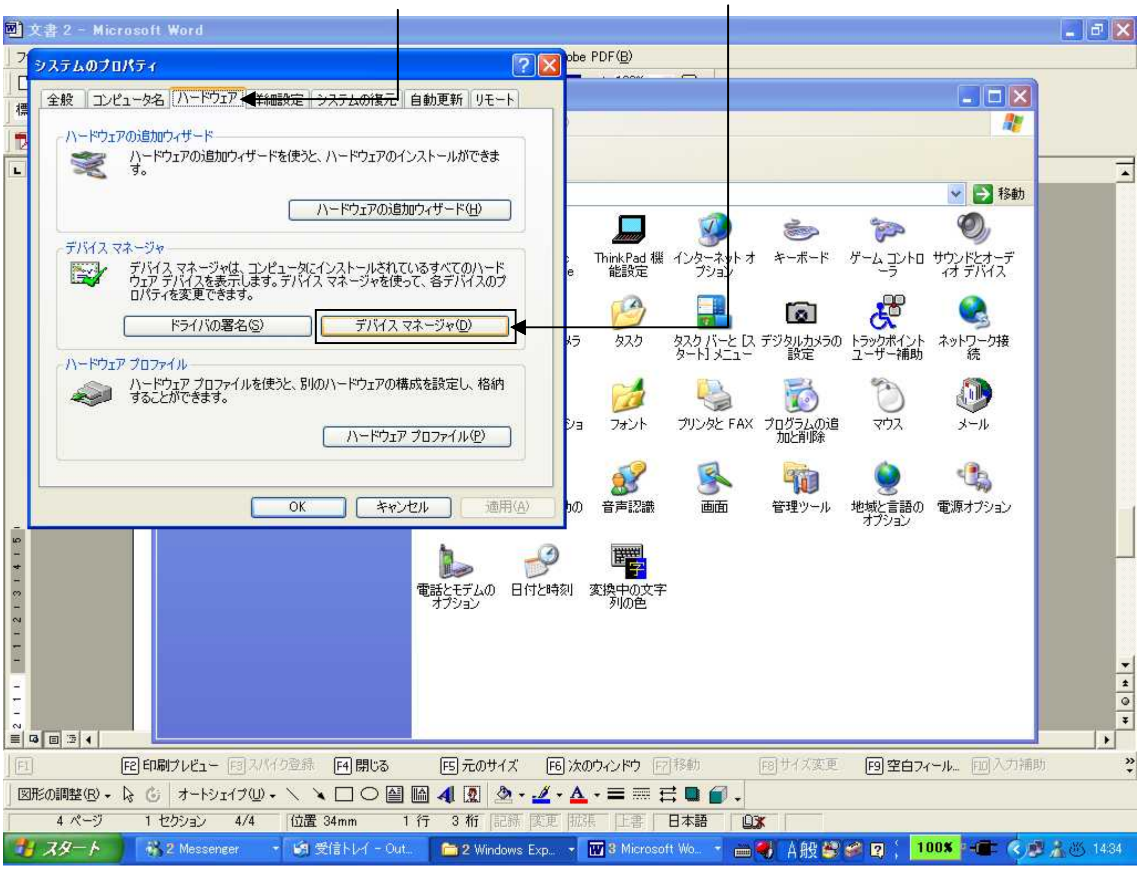
1．　スタートボタンをクリックします。コントロールパネルをクリックします。



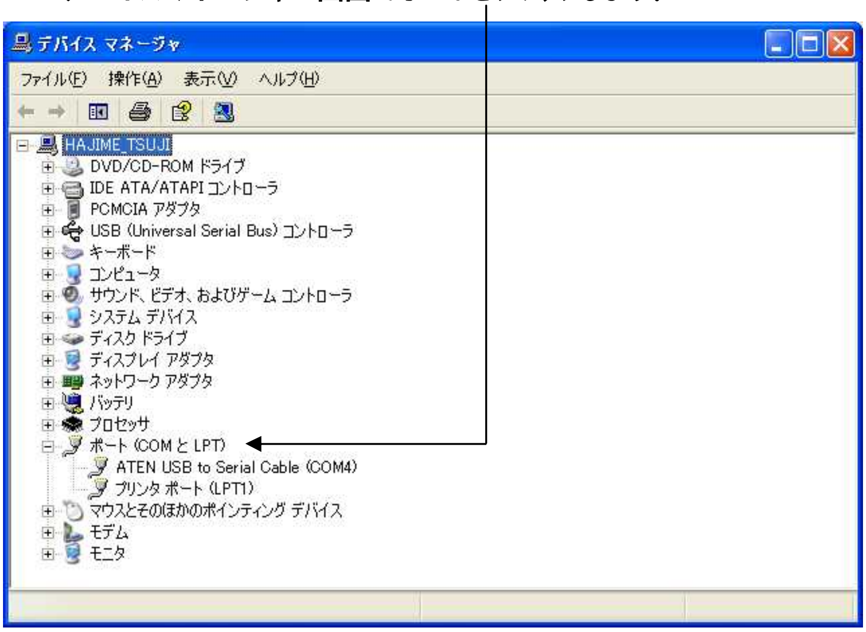
2．　コントロールパネルを開きますとシステムというアイコンがあります。ここをクリックして下さい。



3． システムのタグ画面でハードウエアタグをクリックし、デバイスマネージャーをクリックします。

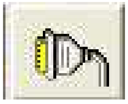


4． デバイスマネージャー画面でポートをクリックします。

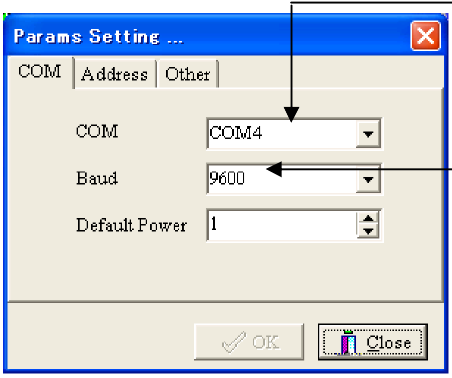


すると使用できるポートの表示とポート番号が出ます。複数ある場合は現在接続されているポートとポート番号を本体のポートで確認します。番号が PC 本体に記入されていない場合は、画面に表示されたポート番号を控えておきます。

5－5－2．PowerMS ソフトの通信ポート設定



通信ポート設定ボタンを押します。下記の画面が表示されます。



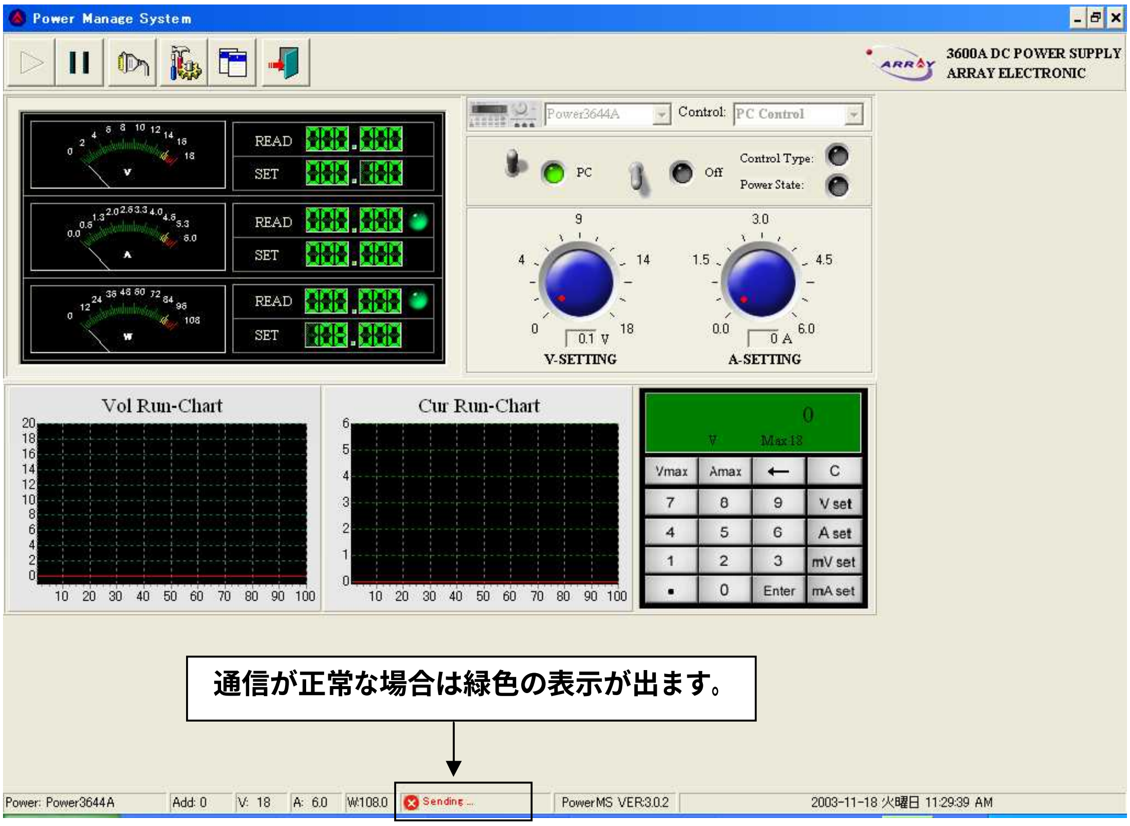
使用するポート番号を選択します。複数あり、どれか不明の場合は、順番に選び操作画面最下段に表示される通信状態表示を確認します(下図参照)。

通信速度を選択します。電源装置本体で選択した速度と合わせます。

アドレスタグをクリックし、電源に設定したアドレス番号を入力します。

以上で設定は終了です。ソフトと電源の共通事項はアドレスと通信速度で、これらがともに一致していない場合は通信が成立しません。また電源の選択(操作画面の電源選択)が間違っていますと通信が成立しません。

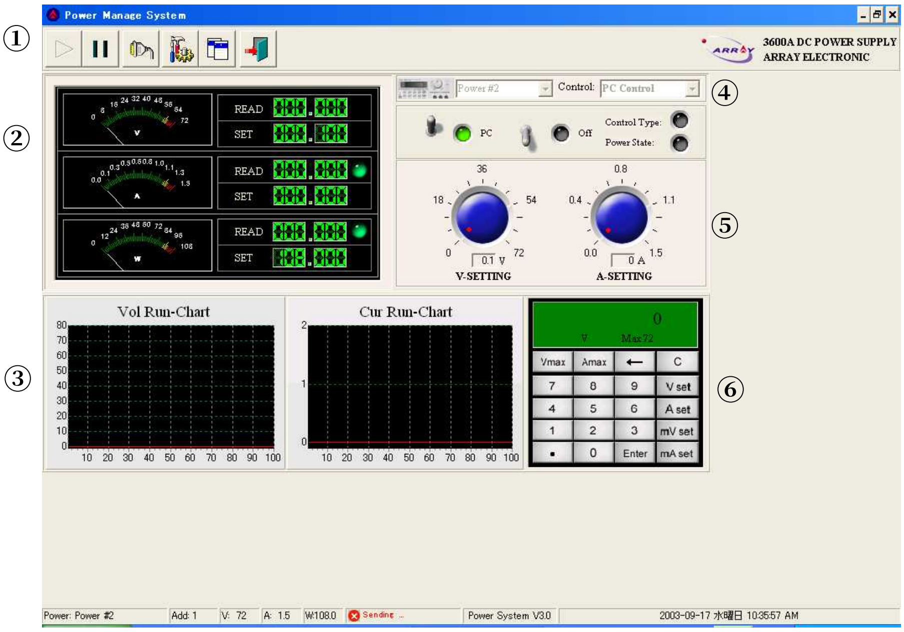
通信が動作しない場合は、以上の点を確認し、異なったアドレスになっていないか、速度は間違えていないか、選択した機種が間違っていないかを再度御確認ください。



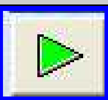
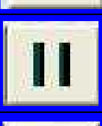
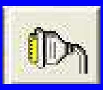
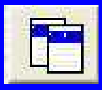
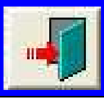
5－6．操作画面

①の機能ボタン(通信・ステッププログラム・レポート機能)をはじめ、画面は大きく6つに分けられています。電源装置の測定関連の表示機能は②③で、④⑤は電源装置の制御切り替え機能、⑥は設定入力機能となっています。

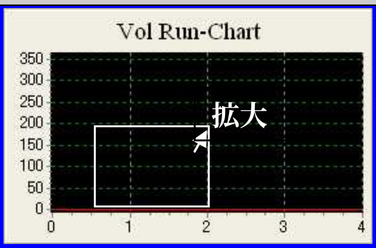
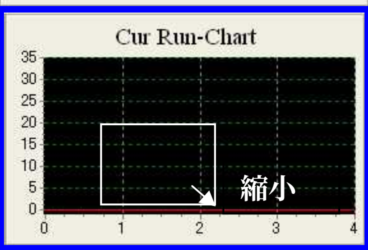
メイン画面

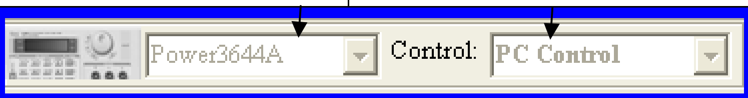


5－6－1．操作画面の説明

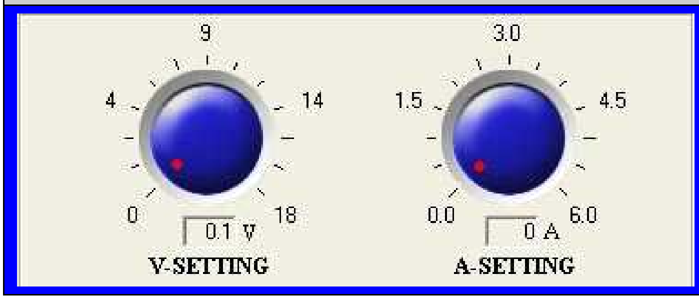
①機能ボタン	内容
	電源装置作動ボタン 電源装置の運転を開始します。
	電源装置作動一時停止 電源装置の作動を一時停止します。
	通信ポート設定ボタン COM ポートの設定、電源装置 ID の設定、通信速度の設定を行います。
	電源装置仕様設定ボタン 電源装置の ID、名称、基本仕様の確認あるいは変更を行います。
	レポート表示ボタン 電源装置により計測された数値を表示します。またレポートの Excel®ファイルへの変換を行います。
	ソフトを終了します。

②アナログ表示	内容
	測定値 電圧(測定値/設定値)、 電流(測定値/設定値)、 電力(測定値/設定値) 動作モード表示 緑色ランプ 選択モードにおける測定値 黄色ランプ 現在のモード SET　現在設定値

③トレンドグラフ表示	内容
	上：電圧測定値トレンド 下：電流測定値トレンド 画面を部分的に拡大するときはマウスの左をクリックしながら拡大領域を指定します。戻すときはマウスを画面上から下へとクリックしながら動かしてください。 出力レベルの表示位置を変更する場合はマウスを右クリックしてください。

④電源／PC／本体制御切り替え	
プルダウンメニューによる通信する電源装置の切り替え	制御切り替え用プルダウンメニュー
	
	トグルスイッチによる制御の切り替え。※プルダウンメニューと連動。

⑤ボリュームコントロール

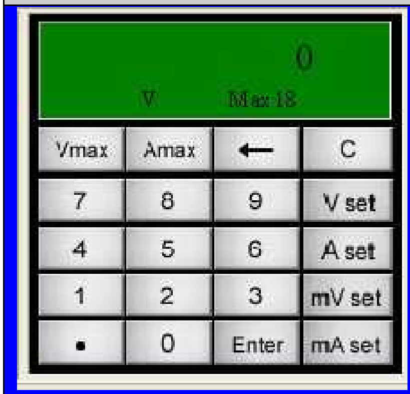


電流、電力、抵抗をボリュームで直接設定します。

注意

モード：調整を行ったボリュームに従いモードは自動的に変更する。

⑥テンキー



Amax 最大電流、Vmax 最大電圧確認、及び Aset 定電流、Vset 定電圧の設定を行います。設定値を有効にするには Enter キーを押します。

定電圧設定

Vset をクリックし、値をテンキーで入力します。

入力が終わりましたら Enter キーを押してください。

定電流設定

Aset をクリックし、値をテンキーで入力します。

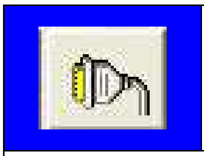
入力が終わりましたら Enter キーを押してください。

※上限値の変更

上限値は電源装置仕様設定ボタンで設定できます。

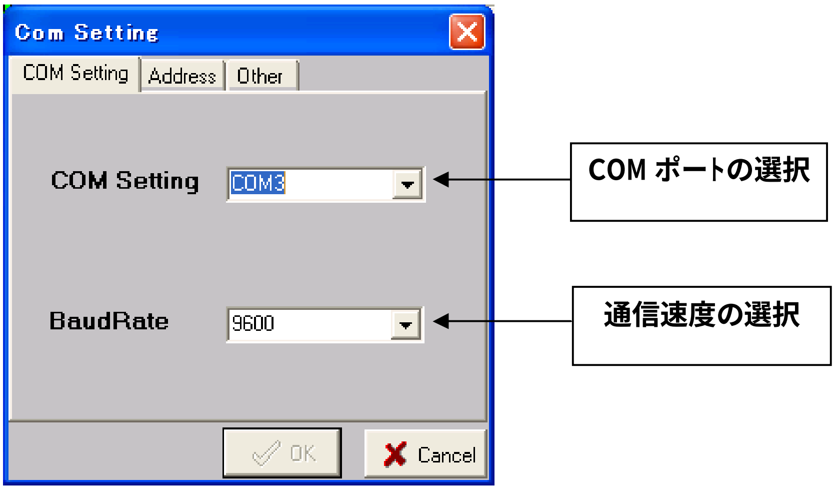
設定を変更した場合はソフトの再起動を行います。

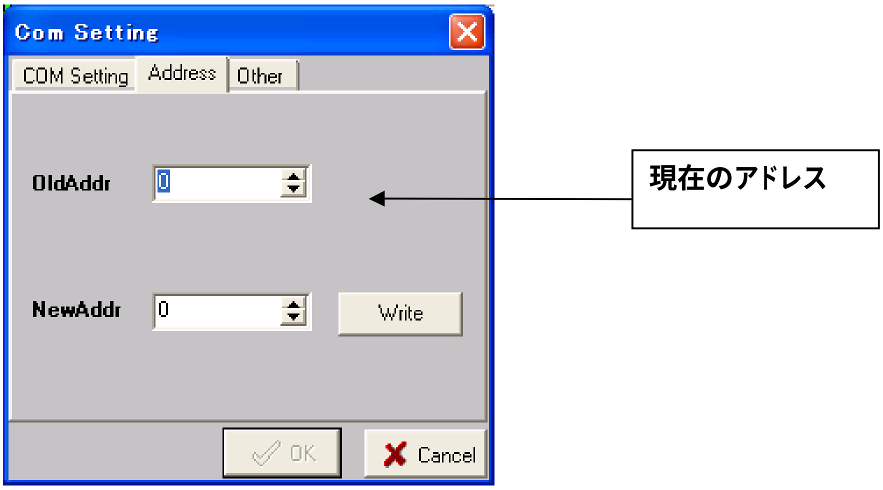
5－6－2．通信ポート設定（①）

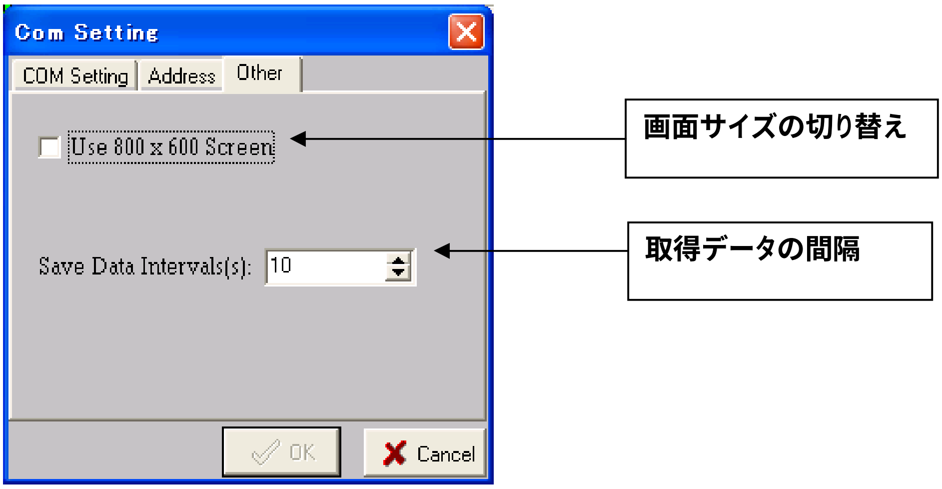


通信ポート設定ボタン

COM ポートの選択、電源装置 ID の設定、通信速度の設定を行います。
また画面サイズ及びデータ取得間隔の設定を行います。



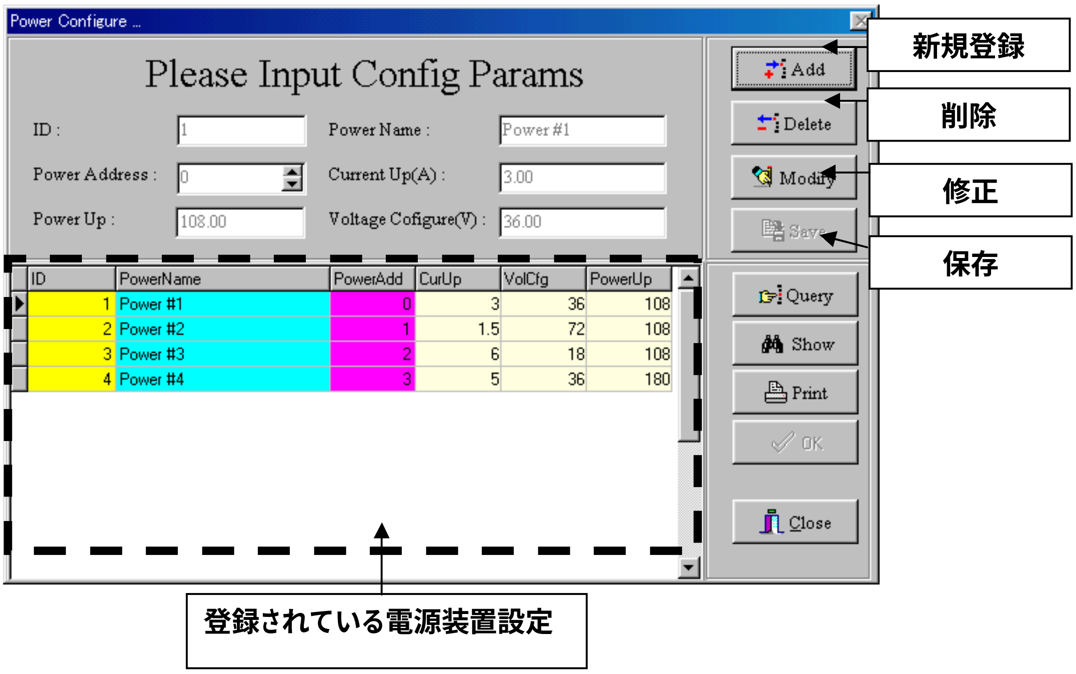




5－6－3．電源装置仕様設定 (①)

電源装置仕様設定ボタン

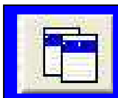
電源装置の ID、名称、基本仕様の確認あるいは変更を行います。



1．新規登録は必ず異なる ID と電源装置アドレス設定としてください。
2．削除を行う場合は、削除する設定をクリックし、削除ボタンを押し、最後に保存ボタンを押してください。
3．修正、新規登録を実施した場合はソフトを再起動します。

5－6－4．レポート機能 (①)

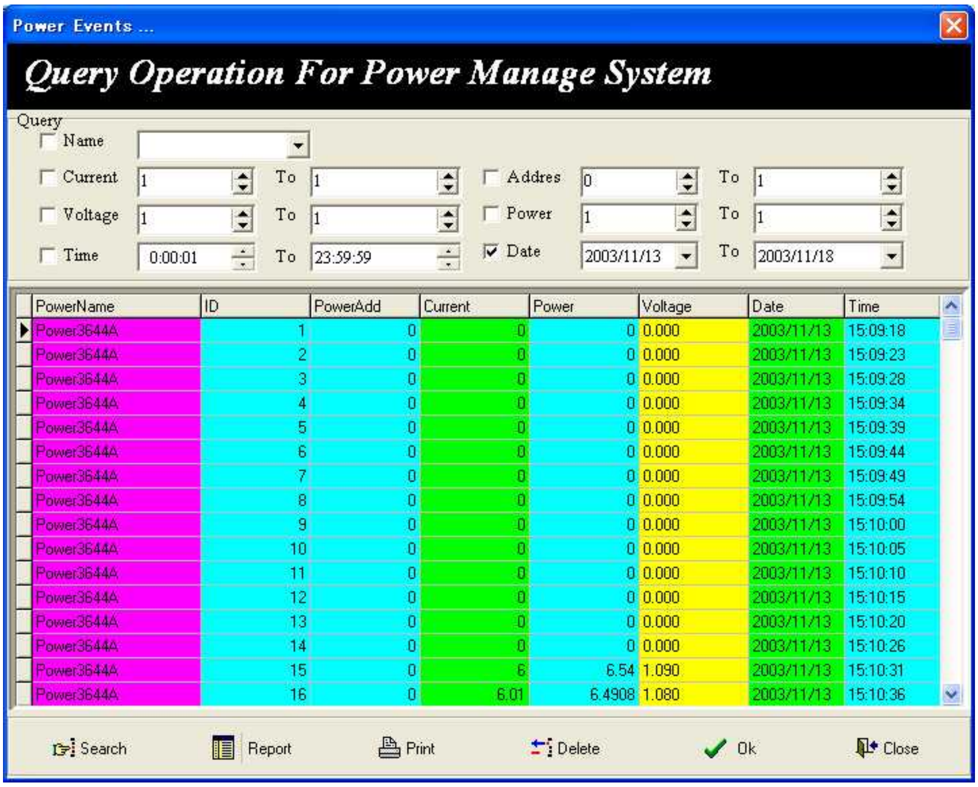
ソフトに含まれる機能として電源装置で測定された数値(電圧、電流、電力、時間)を表の形で表示します。表は表計算ソフトへと出力することができます。



レポート表示ボタン

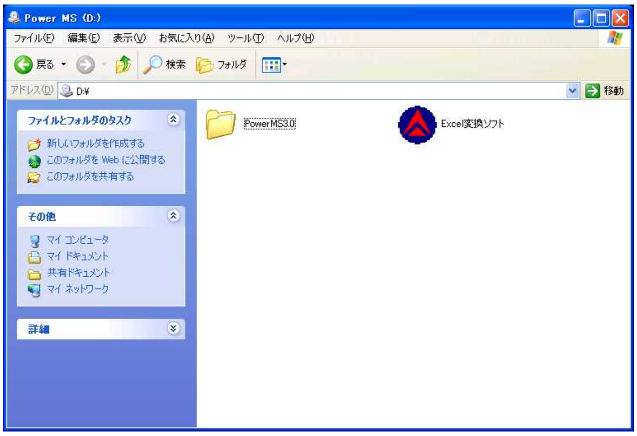
電源装置により計測された数値を表示します。レポートのプリンター出力を行えます。

表示されるデータはエクセル変換ソフトによりエクセルへ出力することが可能です。

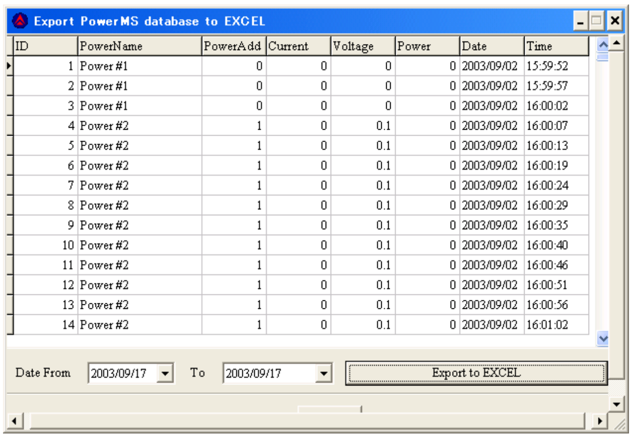


エクセル変換ソフトによるデータのエクセルへの変換

記録したデータをエクセルファイルへ変換することができます。CD-ROM内にあるExcel変換ソフトをプログラムフォルダー内PowerMSフォルダーにコピーしてください。そしてExcel変換ソフトアイコンを起動します。

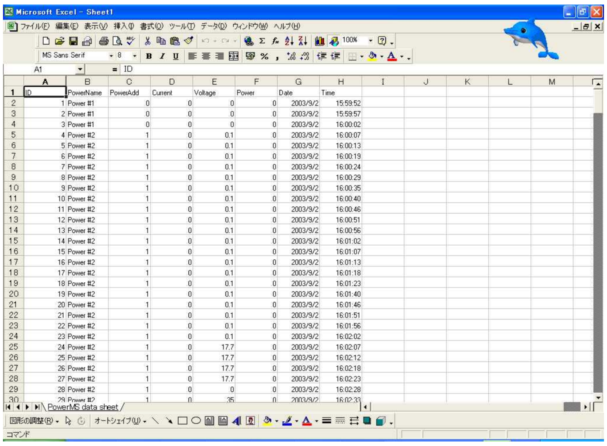


下の画面が表示されます。エクセルに出力する範囲を選びExport to Excelボタンをクリックします。



ID	PowerName	PowerAdd	Current	Voltage	Power	Date	Time
1	Power #1	0	0	0	0	2003/09/02	15:59:52
2	Power #1	0	0	0	0	2003/09/02	15:59:57
3	Power #1	0	0	0	0	2003/09/02	16:00:02
4	Power #2	1	0	0.1	0	2003/09/02	16:00:07
5	Power #2	1	0	0.1	0	2003/09/02	16:00:13
6	Power #2	1	0	0.1	0	2003/09/02	16:00:19
7	Power #2	1	0	0.1	0	2003/09/02	16:00:24
8	Power #2	1	0	0.1	0	2003/09/02	16:00:29
9	Power #2	1	0	0.1	0	2003/09/02	16:00:35
10	Power #2	1	0	0.1	0	2003/09/02	16:00:40
11	Power #2	1	0	0.1	0	2003/09/02	16:00:46
12	Power #2	1	0	0.1	0	2003/09/02	16:00:51
13	Power #2	1	0	0.1	0	2003/09/02	16:00:56
14	Power #2	1	0	0.1	0	2003/09/02	16:01:02

エクセル変換ソフトをダブルクリックしますと、下の画面が表示されます。測定期間をダイアログボックスより選びエクセルへの出力ボタンを押します。自動的に下の画面のようにエクセルが起動します。



製品保障

直流電源装置はその仕様を満たす範囲と取扱説明書に従った使用方法において、使われている部品の欠陥及び制作上の欠陥が無いことを保障します。製品保障期間はお客様へ製品をお届けした日から一年間となっております。

電源装置の機能不良から自然の結果として生じました直流電源装置以外の直接的または間接的損害についての責任を負うことは無いものとします。

この保障は日本国内で直流電源装置についての保障であり、当社の判断にて製品の修理あるいは交換に限定します。

直流電源装置が故障した際は下記へ御連絡ください。

株式会社ティ･アンド･シー･テクニカル
本社営業部
東京都足立区千住仲町４０－１２
TEL03-3870-7101　ﾌｧｯｸｽ　03-3870-7102
技術営業部３課　直流電源担当

直流電源装置が故障しました時は上記へ御連絡ください。返送先をお知らせいたします。輸送中の取扱いによる損害、あるいは不適当な梱包による損害は製品保障の対象外となります。お客様による分解･改造等が原因である故障は保障期間内であっても保障対象外となります。